第６次学校教育レベルアッププラン

The 6th Level Up Plan for school education　令和6年度 ▸ 令和10年度

プランの概要

本プランは、「第３期東広島市教育振興基本計画」（令和６年２月）の施策を具体化し、計画的に展開するために策定したものです。教育のICT化の進展、教員の年齢構成の変化、共生社会の実現に向けた要請など、教育を取り巻く環境は大きく変化し、子供たちの資質・能力を高めるのはもちろんのこと、教職員、学校も変化を恐れずに挑戦する姿勢が求められています。

これまでの東広島教育の伝統、大学をはじめとした外部リソースの活用など、本市の特長を生かした教育を積極的に推進し、子供、教職員、保護者、学校、地域、そして教育委員会が、共通の目標に向かって挑戦し、更に高みを目指す新しい東広島教育を創造していきます。

育成を目指す資質・能力　～ 子供も 教職員も 学校も ～

挑　戦
Challenge

主体的に判断し行動する自律性に加え、夢や高い志をもち、自分の個性や能力を生かしながら新たな課題や可能性に向けて果敢に挑戦することができる。

協　働
Collaborate

他者に対して自分の考えを根拠をもとに明確に説明しながら、対話や議論を通じて相手の考えを理解したり自分の考えを広げ深めたりし、社会の創り手として多様な人々と協働することができる。

創　造
Create

社会の中で自ら問いを立て、解決方法を探索して計画を実行し、問題解決に導き、さらに新たな問題の発見・解決につなげるなど、主体的に新たな価値を創造することができる。

プラン策定の３つの視点

学びが変わる

新しい時代に対応し 学び続ける子供

教育のICT化の進展など、学校の教育環境、求められる学びの在り方は変化しています。そろえる教育から、好奇心、自主性を大切にし、持続可能な社会の創り手として必要な、挑戦する心を引き出す教育への転換を図るため、その実現と環境づくりのための事業を展開します。

教職員が変わる

探究心をもち 子供とともに 学び続ける教職員

教職員一人一人が働きがいを感じながら、資質・能力の向上を図るために、自己研鑽に励むことが求められます。研修履歴を活用し、研修内容が学校で実践されるための仕組みづくりを行い、教職員の挑戦を支えるとともに、働き方改革を推進する事業を展開します。

学校が変わる

全ての子供の可能性を引き出し 地域と協働する学校

特別な支援が必要な子供や外国につながる子供など、教室の子供たちは多様です。誰一人取り残されず、一人一人の多様な個性・能力を伸ばすために、地域と協働し、地域とともにある学校づくりに向けた事業を展開します。

本プランは、今後の教育の方向性を示す羅針盤として作成したものです。
本プランは、毎年評価・検証し、修正を行います。

目指す子供の姿

「夢と志」をもち、未来に向かって果敢に挑戦する子供

Challenge

今、子供たちの未来のために、

新しい教育、新しい学校づくりが求められています。

地域と協働し、地域とともにある温かな学校において、

子供たちは、学び続ける教職員と共に、誰一人取り残されることなく、

確かな資質・能力を培い、未来に自信をもって羽ばたいていく。

そんな新しい東広島教育の夢と志を詰め込んだプランです。

令和６年３月
東広島市教育委員会

第６次学校教育レベルアッププラン

The 6th Level Up Plan for school education　令和6年度▸令和10年度

目指す子供の姿

「夢と志」をもち、未来に向かって果敢に挑戦する子供

やさしい未来都市！東広島　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援します

３つの視点と主な取組

新しい時代に対応し学び続ける子供

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 学びのＤＸの推進
- １人１台端末利活用の促進
- 外国語教育の推進
- トライアングルプランの推進
- 幼保小連携・接続の充実
- 健康増進・体力つくりの推進
- 学校図書館教育の推進

探究心をもち 子供とともに学び続ける教職員

- 校内研修等の充実
- 市主催研修（管理職・全教職員）の 充実
- 若手教員の育成
- 中堅教員の育成
- 生徒指導の充実
- 働き方改革の更なる推進

全ての子供の可能性を引き出し地域と協働する学校

- 特別支援教育体制の構築
- 不登校等児童生徒の学びの場や居場所づくりの充実
- 外国につながる児童生徒への取組の充実
- 部活動の地域展開
- コミュニティ・スクールの推進
- 特色ある学校づくりの充実
- 小中一貫・小規模校の教育の充実

スケジュール

●予定　▶方向性

令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度　令和１０年度

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実：PBL、単元内自由進度学習等の多彩な学びへの支援・普及　／　全ての教員のPBL研修（県特設講座）受講完了
- 学びのＤＸの推進：ICTリーディングエリアの取組　／　学習履歴活用の横展開　／　日常的な学習履歴活用を支援
- １人１台端末利活用の促進：遠隔授業・交流の充実　／　▶遠隔授業メニューや交流相手の充実、持続的・継続的な支援体制の構築
- 外国語教育の推進：ICTの活用技能向上及び実践普及に係る研修の継続　／　▶端末利活用日常化に向けた研修内容・方法の改善、継続実施
- トライアングルプランの推進：ICT支援員（授業支援）の増員　／　ICT支援員（授業支援）の増員（国の配置基準到達）
- 幼保小連携・接続の充実：ALT・１人１台端末の有効活用による言語活動の充実　／　外国語活動指導協力者の拡充　／　ENGLISH Challenge Dayの継続　／　英会話教材アプリ等の検討　／　コミュニケーションベースの授業の日常化
- 健康増進・体力つくりの推進：教職員研修の継続　／　「こころの授業」小中全校実施　／　各校の取組の集約と共有　／　持続的・継続的な改善サイクル確立
- 学校図書館教育の推進：推進モデル地域の指定と先行実施　／　横展開と架け橋期のカリキュラムの作成　／　持続的・継続的な改善サイクル確立
- 校内研修等の充実：中学校への体つくり運動アプリの継続配備と活用促進　／　▶運動の日常化に向けた授業づくり・取組の充実
- 市主催研修（管理職・全教職員）の 充実：アスリートや専門性の高い指導者の積極活用　／　健康教育に係る実態調査（医師会との連携）　／　▶医師会と連携した健康教育の実施
- 若手教員の育成：学校図書館活用の促進　／　小中学校への新聞配備の継続　／　学校司書の増員（国の配置基準到達）
- 中堅教員の育成：１人１台端末を活用した教育研究の推進　／　市教育研究会等への支援の充実　／　各校授業研究の相互公開・参加の活性化　／　▶日々の授業改善への支援
- 生徒指導の充実：教育奨励事業の見直し
- 働き方改革の更なる推進：研修前後を含めた研修方法の改善　／　改善の成果を他の市教委主催研修に反映　／　▶本市の教育課題解決に向けた研修の一層の充実
- 特別支援教育体制の構築：ステップアップ研修・５年目研修の継続
- 不登校等児童生徒の学びの場や居場所づくりの充実：スクールリーダー育成研修の継続（広島大学連携事業）　／　研修履歴を活用した研修受講の奨励　／　▶自主研修サークルの立ち上げ支援等の充実によるサードプレイスの創出
- 外国につながる児童生徒への取組の充実：発達支持的生徒指導への転換に向けた支援　／　「児童会・生徒会実践交流会」の実施　／　持続的・継続的な改善サイクル確立　／　▶実践交流の場の充実や実践校の成果普及
- 部活動の地域展開：校務DXの推進、仕事と生活の両立ができる職場環境の確保　／　「学校における働き方改革取組方針」改定
- コミュニティ・スクールの推進：各校特別支援教育体制構築への継続支援　／　教職員研修の継続　／　▶本市の強みを生かした取組の一層の充実
- 特色ある学校づくりの充実：SSRの増設と不登校等支援員の配置　／　周辺地域における居場所づくりの拡充　／　▶ICTを一層活用した柔軟な学びの実現に向けた取組
- 小中一貫・小規模校の教育の充実：拠点校での取組の充実　／　初期指導の周辺地域への派遣継続　／　拠点校での成果の横展開　／　▶対象児童生徒間等の交流機会の創出
- モデル地域の拡充　／　モデル地域の拡充　／　新たな環境でのスポーツ・文化芸術活動の実施
- 全校に学校運営協議会設置　／　リーフレットの作成　研修の継続と情報発信の強化　／　持続的・継続的な改善サイクルの確立　／　▶東広島版コミュニティ・スクールの構築
- 留学生による国際交流授業プラン活用促進　／　「一校一和文化学習」の継続　／　各校の特色を生かした教育活動に係る情報発信の強化
- ラーニングルーム追加設置　／　リーフレットの作成と教育活動発信　／　各校の特色ある教育課程の継続実施と発信

主な成果指標・目標値

児童生徒

項目	目標値	初期値
「学校に行くのは楽しいです」において肯定的に回答した児童生徒の割合	小学校100% 中学校100%	小学校87.3% 中学校88.3%
「難しいことでも、あきらめないで挑戦しています」において肯定的に回答した児童生徒の割合	小学校90% 中学校90%	―
「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいます」において肯定的に回答した児童生徒の割合	小学校90% 中学校90%	小学校87.0% 中学校86.1% （※１）
「授業では、相手の考えから自分の考えを広げたり、協力して取り組んだりしています」において肯定的に回答した児童生徒の割合	小学校90% 中学校90%	小学校89.5% 中学校84.2% （※１）
「アイデアを出して解決方法を考えたり、工夫して取り組んだりすることが好きです」において肯定的に回答した児童生徒の割合	小学校90% 中学校90%	小学校86.7% 中学校85.0% （※１）
「将来の夢や目標をもっています」において肯定的に回答した児童生徒の割合	小学校100% 中学校100%	小学校84.0% 中学校72.9%
「授業で１人１台端末をどの程度使っていますか」において「ほぼ毎日」「週３回以上」と回答した児童生徒の割合	小学校100% 中学校100%	小学校61.1% 中学校57.5%
不登校児童生徒のうち、学校内外の機関等で相談・指導等を受けている児童生徒の割合	小学校100% 中学校100%	小学校46.6% 中学校56.5% （※２）

教職員

項目	目標	初期値
「学校は働きがいがあります」において肯定的に回答した教職員の割合	小学校100% 中学校100%	小学校95.8% 中学校92.9%
「子供と向き合う時間が確保されています」において肯定的に回答した教職員の割合	小学校80% 中学校80%	小学校74.9% 中学校65.2%

（※１）成果指標項目を見直したため、参考値を示したもの。「学校教育レベルアッププラン等アンケート」（令和５年１２月実施）における類似項目の結果による。
（※２）文部科学省「令和４年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（令和５年４月実施）に基づく。